

第七十三回
帝國議會
貴族院

有價證券引受業法案特別委員會議事速記録第二號

昭和十三年三月九日(水曜日)午後一時三十分開會

○委員長(子爵三室戸敬光君) 是ヨリ有價

證券引受業法案ノ會議ヲ開キマス、皆サンニ御諮リ申上ゲマスガ、先ヅ以テ政府當局ヨリ本案ノ逐條的御説明ヲ伺ッテ然ル後ニ質問シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵三室戸敬光君) ソレデハ左様ニ決定致シマス

○政府委員(入間野武雄君) 此ノ法律案ハ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、現今有價證券引受業者ノ起債界ニ於ケル地位ノ重要性ニ顧ミマシテ、是等ノ人々ヲ監督シテ、起債界ノ振興、起債界ノ圓滿ナル發達ヲ期シタイト云フコトガ、此ノ法律案提案ノ根本デアリマス、從ヒマシテ此ノ法律全體ヲ通ジテ申上ゲテ置キタイトハ、他ノ金融關係ノ法、即チ銀行法、信託業法及無盡業法ナドト大體同ジヤウナ實體監督ヲ主トシタル規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、第一條カラ只今委員長ノ御指圖ニ依リマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、此ノ條文ハ此ノ法

律ニ於キマシテ有價證券引受業ト云フモノハドウ云フ種類ノモノヲ謂フノデアアルカト云フ有價證券引受業ノ定義ヲ定メマシタ譯デアリマス、而シテ第二項ニ於キマシテ勅令ヲ以テ有價證券ノ種類ヲ明カニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、只今私共ノ考ヘテ居リマスル此ノ有價證券ノ種類ハ、國債、地方債、社債及之ニ類似ノ證券、例ヘテ申シマスレバ、産業組合中央金庫ノ出シマス所ノ勸業債券、商工組合中央金庫ノ出シマス所ノ商工債券、或ハ只今御審議ヲ願ッテ居リマスル恩給金庫ノ發行致シマスル恩給債券、庶民金庫ノ發行致シマスル庶民債券、其ノ外外國ノ國債デアルトカ、社債デアルトカ、サウ云フモノヲ此ノ勅令ニ掲ゲタイト存ジテ居リマシテ、株式ノ引受ハ此ノ範圍外ト致ス積リデアリマス、ト申シマスノハ、私共大藏省ニ於テ扱ヒマスル所ハ金融機關ノ監督デアリマシテ、從ヒマシテ證券引受業者ノ引受ケマスル所ノ證券モ金融證券デアルトコトガ必要デアアルノデアリマス、御承知ノ通り株式企業參加證券トデモ申シマセウカ、金融證券ト申シマスヨリモ、其ノ方面ノ色彩ガ濃厚デアリマスルカラ、

是ハ産業官廳デアリマスル所ノ商工省ノ方デ御考ニナレバ宜イト考ヘマシテ、大藏省ト致シマシテハ一口ニ申シマスレバ確定利付ノ債券ト申シマセウカ、金融證券ノミラ此ノ對象ト致シテ考ヘテ居ルノデアリマス、次ハ第二條デゴザイマスルガ、證券引受會社ハ經濟上並法律上重要ナル職能ヲ爲スト云フコトニ鑑ミマシテ、之ガ營業ヲ爲ス者ヲ嚴選スル必要ガアリマスルノデ、免許ヲ受ケナケレバ營業ガ出來ナイト云フコトニ致シタノデアリマシテ、是ハ銀行法第二條及貯蓄銀行法第二條ノ規定ト同様デアリマス、次ハ第三條ハ此ノ有價證券引受業ヲ營ミ得ル經營主體ニ關スル規定デアリマシテ、第一ニハ有價證券引受業ヲ營ミマスル爲ニハ株式會社デアルト云フコトガ必要デアアルコトニシタノデアリマス、即チ株式會社ハ永續的企業ヲ經營スルニ適シテ居リマスルバカリデナク、其ノ經理、計算ニ關シマシテモ之ヲ明カニシ、又内部經理ニ關シマシテモ、株式總會トカ、或ハ監査役ガ之ヲ見ルトカ、法制上、實際上極メテ整頓致シテ居リマスルガ爲ニ、株式會社ニ非ザレバ之ヲ許サナイト云フコトニ致シタノデアリマ

ス、其ノ次ニハ資本金二百萬圓以上ノモノデナケレバナラス、斯ウ規定致シタノデアリマスルガ、其ノ理由トスル所ハ、此ノ引受會社ナルモノハ相當ノ金融上大キナ仕事ヲスルモノデアリマシテ、從ッテ其ノ資力ガ薄弱デアリマシテハ、到底之ヲ確實ニ營ミ得ナイヤウナ狀態デアリマスルカラ、茲ニ二百萬圓ト云フ制限ヲ置イタ次第デアリマス、銀行法ナドニ於キマシテモ、大阪及東京ニ本店支店ヲ持ッテ居リマスルモノハ、矢張二百萬圓以上ノ資本金デアルト云フコトヲ必要ト致シテ居リマスルノデ、ソレ等ト彼此相考ヘマシテ、此ノ引受會社ナルモノガ東京、大阪ニ只今ノ所アリマスル實情カラ見マシテ、二百萬圓程度ニスルト云フコトガ穩當デハナカラウカト云フコトヲ考ヘマシテ、斯クシタ次第デアリマス、第四條ノ規定ハ政府ノ免許ヲ受ケマシタ證券引受會社ガ、其ノ證券引受業務以外ニ然ラバドウ云フ仕事ガ出來ルカト云フコトニ付キマシテ規定シタノデアリマシテ、此ノ證券引受業ニ附帶シテ居リマスル業務ト、有價證券ノ賣買若シクハ其ノ媒介ヲシテ居リマスル業務ハ、認可ヲ受ケナイデモヤレマスルガ、其

ノ外ノ業務ヲ營ミマスル場合ハ主務大臣ノ許可ヲ必要トシタノデアリマス、引受會社ニ於キマシテ餘リニ色々ノ仕事ニ手ヲ出スコトハ如何カト存ジマスルノデ、有價證券引受業務ト有價證券ノ賣買若シクハ媒介ノ業務、ソレカラ有價證券引受業ニ附隨スル業務ダケハ當然營ムコトハ出來ルガ、其ノ外ハ主務大臣ノ許可ガ要ルト云フコトニ致シタノデアリマス、次ハ第五條ノ規定デゴザイマスルガ、第五條ノ規定ハ、有價證券引受業法ニ特有ノ規定デアリマス、即チ過般貴族院ニ於テ御審議ヲ願ヒマシタ新商法ニ依リマスルト、其ノ商法施行法五十六條ニ於キマシテ社債募集ノ委託ヲ受ケ、又ハ社債募集ノ委託ヲ受ケタル會社ナキニ至リマシタ場合ノ事務繼承者トナリ得ル者ハ、銀行及信託會社ノ二ツニ限ラレテ居ルノデアリマス、蓋シ此ノ規定ヲ新商法ノ施行法ニ置キマシタ所以ノモノハ、社債ノ募集ノ委託ナド云フ仕事ハ、信用ノアル者デナケレバ之ヲ營マセルコトハイケンナイ、ソレニハ政府ノ監督ノアル銀行、信託會社ニ營マシメルコトガ妥當デアルト云フ意味合ニ於キマシテ、此ノ規定ガ置カレタノデゴザイマスルガ、併シナガラ所謂證券引受業者モ只今此ノ種ノ仕事ヲ營ンデ居ルノデアリマス、

而シテ新商法ガ明年四月一日ヨリ施行セラレマスルコトニナリマス、是等業者ハ其ノ今迄營ンデ居リマシタ仕事ヲ營ミ兼ネルト云フヤウナコトガアリマスルノハ、誠ニ氣ノ毒ノ事デアリマスルノデ、先ヅ有價證券引受業法ヲ制定シマシテ、是等證券引受業者ノ實體的ノ監督ヲナシ、其ノ信用ヲ高メテ、然ル後ニ新商法ガ施行セラレマシテモ、從來通り引續イテ社債募集ノ委託ヲ受ケルヤウナ仕事モヤリ得ルヤウニ、商法施行法ニ對スル例外規定トシテ此ノ條文ガ設ケラレタノデアリマス、次ニ第六條ノ規定デアリマスルガ、是ハ證券引受業者ガ主務大臣ノ認可ヲ受クル必要ノアル事項ヲ列舉シタノデアリマシテ、銀行法第六條ノ規定ト大體同様デアリマス、次ハ第七條ノ規定デゴザイマスルガ、是ハ引受業者ノ合併ハ主務大臣ノ認可ガナケレバ效力ヲ生ジナイト云フコトニ致シタノデアリマシテ、證券引受會社ノ合併ハ必ズシモ只今ノ所ニ於キマシテハ干渉スル必要モアリマセズ、寧ロ其ノ獨占的傾向ハ之ヲ避ケナケレバイケナイノデアリマスカラ、其ノ合併ハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ必要トシ、若シ認可ヲ得ナケレバ、其ノ合併ノ效力ガナイト云フコトニ致シタノデアリマシテ、銀行法第

十四條、信託業法第十四條、無盡業法第二十一條ト略、同様ノ規定デゴザイマス、次ニ第八條ノ説明ニ移リマスルガ、第八條ハ證券引受會社ナルモノハ大體信用ヲ基礎トシ、金融機關トシテ働イテ居リマスルノデアリマスルカラ、對外信用ト云フコトガ必要ナノデアリマス、從ヒマシテ其ノ業務ノ性質ニ顧ミマスル時ハ、一層資金ノ充實ヲ圖ラシメ、以テ其ノ基礎ノ鞏固ヲ期セシムルコトガ必要デアリマスルノデ、一般商法ノ規定ト異リマシテ、銀行、信託會社、無盡會社ナドト同ジヤウニ、資本金ノ總額ニ達シマスル迄ハ利益ヲ配當スル度ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一ヲ積立テルト云フコトニ定メタルガ、是ハ證券引受會社ノ營業年度ヲ年二回トシ、六月カラ十一月迄及十二月カラ五月迄ニ定メタノデアリマス、銀行ナドニ於キマシテハ一月ヨリ六月、七月ヨリ十二月ヲ以テ決算期ト致シテ居リマスルガ、只今アリマスル證券引受會社ガ大體此ノ法律ニ規定シテ居リマスル時ニ相成ッテ居ルノガ多イヤウデアリマスルシ、又此ノ營業期間ノ定メ方ハ信託業法施行規則ナドニ定メテアリマスルノト同様デアリマス、其ノ次第十條

營業ノ性質ニ鑑ミマシテ、營業年度毎ニ業務報告書ヲ作成シテ、政府ニ提出セシメルト云フコトニ致シタノデアリマス、茲ニ謂フ業務報告書ト申シマスルノハ、大體營業報告書、貸借對照表、損益計算書、準備金及利益ノ配當ニ關スル書面ナドヲ包含シテ居ルノデアリマシテ、只今ノ銀行法第十條、無盡業法第十六條等ノ規定ト同様デアリマス、次ハ第十一條ノ規定デゴザイマスルガ、是ハ證券引受會社ガ其ノ事業ノ成績ヲ新聞ニ依ッテ公表シテ、其ノ信用ノ程度ヲ明カナラシムル爲ニ設ケラレタ規定デアリマス、即チ主務大臣ノ定メマスル様式ニ依リマシテ、一定ノ様式ニ依リマシテ貸借對照表ヲ作ッテ、之ヲ公告スルト云フコトニ致サセタノデアリマシテ、無盡業法第十七條ニ規定シテ居ル所ト同様デアリマス、十二條、十三條、此ノ兩條ハ證券引受會社ノ監督ニ關スル規定デアリマス、此ノ二ツノ規定ハ銀行法二十條、銀行法二十一條ノ規定ト同様デアリマシテ、主務大臣ハ證券引受會社ノ業務ライツデモ書面若シクハ實地ニ監督シ得ル、之ニ依ッテ以テ實體的監督ノ實ヲ擧ゲタイト云フ規定デアリマス、十四條、十五條、十六條、此ノ三ツノ規定ハ、證券引受會社ノ業態ガ面白クナイヤウナ場合、若シ

クハ其ノ重役方餘リ善クナイコトヲヤツテ居リマスルヤウナ場合ニ於キマシテ、或ハ業務ノ停止ヲ命ジ、或ハ必要ナル命令ヲ爲シ、或ハ重役ノ解任ヲ命ジ、或ハ又營業ノ免許ヲ取消スコトニ關スル規定デアリマス、此ノ規定ハ銀行法二十二條ニ十四條類似ノコトガアリマス、十五條ト同ジヤウナ規定ハ銀行法二十三條、信託業法十九條、無盡業法二十五條、十六條ニ關聯致シマシテハ、銀行法二十四條、無盡業法二十六條等ニ其ノ規定ガアリマス、次ニ第十七條、十八條、十九條、此ノ三箇條ノ規定ハ罰則ニ關スル規定デアリマス、大體從來ノ規定ヲ參酌致シマシテ、銀行法ナドニハ體刑迄アリマスルガ、銀行ハ御承知ノヤウニ多數ノ人ヲ相手トシテ營業ヲ營ンデ居リマスルノデ、若シソレニ營業免許ノ取消デモアリ、仕事ガ出來ナイヤウナコトニナリマスレバ、多數預金者ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナ場合モアリマスルノデ、銀行法等ノ罰則ニハ體刑モアリマスルガ、此ノ證券引受會社ハ一度引受ケテ賣出シテシマヘバ、公衆ノ金ヲ預ルト云フヤウナコトハ稀デアリマスルカラ、體刑ハアリマセズデ、罰金刑若シクハ過料ニスルト云フ程度ニ定メタノデアリマシテ、銀行法三十三條、或ハ銀行法三十四條、或

ハ銀行法三十五條等ニ之ニ似寄ツタ規定ガアルノデアリマス、次ニハ第二十條ノ規定デゴザイマスルガ、有價證券引受業ト云フモノハ、獨リ有價證券引受會社バカリガ之ヲ營ンデ居ルノデアリマセズデ、銀行、信託會社、其ノ他ニ於テ之ヲ營ンデ居リマスルモノモアルノデゴザイマス、從ヒマシテ銀行、信託會社等モ此儘ニシテ置キマスレバ、當然此ノ法律ノ適用ヲ受ケル譯デアリマスルケレドモ、只今銀行及信託會社ニ付キマシテハソレノ監督ノ規定ガアリマシテ、大藏省ニ於テ嚴重ニ之ヲ監督致シテ居リマスル關係上、此ノ法律ノ適用ヲ受ケサセル必要ガナイト考ヘマシタノデ、銀行、信託會社等ハ本法適用ノ範圍外ニ置イテアルノデアリマス、次ニ「又ハ特別ノ法律ニ依リ設立セラレタル法人」トゴザイマスルガ、是ハ只今ノ處東洋拓殖會社ヲ豫想致シテ居リマス、次ハ附則ノ說明デゴザイマスルガ、附則ノ第一項ハ施行ノ期日ヲ勅令デ定メルト云フコトヲ明カニシタノデアリマスルシ、二項、三項及四項ハ經過的ノ規定デゴザイマシテ、御覽戴キマスレバ分リマスル通り、有價證券引受業ヲ從來營ンデ居リマスル者ハ、此ノ法律施行後三月間ハ營業ヲ續ケテヤルコトガ出來ルトカ、ソレカラ營

業免許ノ申請ヲシタ場合ハ、免許又ハ不免許ノ處分ノ日迄ハ仕事ヲ續ケテ行ケルトカ、只今迄一年以上引續イテ有價證券引受業ヲ營ンデ居リマスル者ガ三月以内ニ免許ノ申請ヲ致シマスルトキハ、此ノ法律施行後二年ヲ限リマシテ、第三條即チ資本金等ノ點デアリマス、第四條附隨業務其ノ他ノ點デアリマスルガ、斯ウ云フ規定ヲ適用シナイト云フ風ニ定メタノデアリマス、甚ダ簡單デ御分リニクカッタカト思ヒマスルガ、御質問ニ應ジマシテ御答ヘ致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵三室戶敬光君) ソレデハ御質問ヲ願ヒマス

○子爵梅園篤彦君 丁度本委員會ト同時ニ決算ノ小委員會ガ只今開カレテ居リマシテ、本日本體質問ヲ終ツテ、假決議ヲスル豫定ニナツテ居リマスノデ、是カラ其ノ方ヘ私參リタイト思ヒマスノデ、甚ダ勝手デゴザイマスガ、適當ニ一二御尋ラスルコトヲ御許シ願ヒタイトデゴザイマス、只今ノ政府委員ノ御說明ニ依リマシテ大體了承致シマシタガ、本法ノ第二條以下ニ主務大臣ト云フ文字ガ使ツテアリマスルガ、ソレハ大藏大臣ヲ指スノデアリマセウカ、ソレトモ、株式取引所ノ取引員ノ免許ハ商工大臣ニ屬シテ居リマスルカラ、取引員ノ取扱ヒマスル有價

證券ノ關係上、商工大臣ト共管、即チ共同監督トナルノデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 此處ニ掲ゲテアリマスル主務大臣ハ大藏大臣ダケデアリマシテ、勿論有價證券引受業者ガ有價證券ノ賣買業ヲ營ンデ居リマスル場合ニ於キマシテハ、過般貴族院ニ於テ御審議ヲ願ヒマシタ商工省關係ノ法律案デ、有價證券業取締法ノ關係上、其ノ點ニ付テハ商工大臣ノ免許ヲ必要ト致シテ居リマスガ、併シナガラ兩方カラ免許ヲ致シマスニ付キマシテモ、兩者能ク相談致シマシテ、有價證券引受業者ニ迷惑ノ掛ライヤウニ進メテ行キタイト、商工省トモ打合セテ置イタノデアリマス

○子爵梅園篤彦君 先程ノ政府委員ノ御說明ニ依リマシテ、第三條ニ資本金ハ二百萬圓以上トスト云フコトニ御限定ニナリマシタ御說明ヲ伺ヒマシテ、大體是亦了承ヲザイマスル所ノ野村證券トカ、山一證券トカ、藤本「ビルブローカー」ト云ツタヤウナ大キナ證券業者ヲバ、此ノ取締ノ對象ト致シマスルナラバ、資本金二百萬圓以上ト云フコトハ誠ニ適當デアルト思ヒマス、寧ロ

資本金ヲ多クシテ一層堅實ニスルト云フ意味デアラナラバ、二百萬圓ヨリモ寧ろ三百萬圓以上ト云フ風ニ致シマシタ方ガ、一層此ノ堅實サヲ増スノデヤナイカト思ハレマス、一面又田舎ノ證券業者トカ小サイ證券業者ヲ其ノ取締ノ對象ト致シマスナラバ、寧ろ資本金ヲ一百萬圓以上ト云フ程度ニ致シマシテ、其ノ取締ノ對象ヲバ成ルベク廣ク多クスルト云ツタ方ガ有效適切デアルカトモ存ズルノデアリマス、付キマシテハ先程ノ御説明ニ依リマシテ前者、即チ資本金ヲ多クシテ其ノ堅實ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ、二百萬圓以上ニシタト云フ御説デゴザイマスルガ、一百萬圓位ニ致シマシテ其ノ取締ノ對象ヲ多クシタ方ガ宜イヤウニモ考ヘラレルノデアリマスルガ、其ノ點ニ付テハ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス、尙資本金ヲ本法ノ如ク二百萬圓以上ト致シマシタ場合ニ於ケル、其ノ取締ノ對象デアル所ノ證券業者ノ數ト、假ニ百萬圓以上ト假定致シマシタ場合ニ於ケル、取締ノ對象デアル所ノ證券業者ノ數トヲ併セテ御伺ヒ致シタイト存ジマス

○政府委員(入間野武雄君) 證券引受業者ハ、信用ヲ基礎トシテ發達シナケレバナラナイト云フ其ノ本質ニ鑑ミマシテ、成ルベ

ク資本金ヲ多クシマシテ其ノ基礎ヲ鞏固ニシ、以テ堅實ナル營業ヲ續ケルコトヲ得セシメタイト考ヘテ居ルノデアリマス、只今實際有價證券引受業ヲ營ンデ居リマス者ノ實情ヲ見マスルノニ、業トシテ之ヲヤツテ居リマスル者ハ極メテ僅少デアリマシテ、僅カニ十指ヲ以テ數ヘルニ足リナイ程デアリマス、從ヒマシテ是等ノ者ハ全部二百萬圓以上ノ資本金ヲ以テ營業シテ居リマス、ソレニ滿タナイヤウナ所謂證券會社モアリマスルガ、是ハ營業トシテ公債ノ引受業務ヲヤツテ居リマセヌノデ、本法適用ノ範圍外ニナルコトト存ジマス、尙將來ノ問題トシテサウ云フ人々ガ進ンデ業トシテ證券引受業ヲヤリタイト云フヤウナ場合、矢張り此ノ資本金ノ制限ヲ置イテ堅實ナル者ノミニ之ヲ許シテ行キタイ、只今又其ノ有價證券引受業者ノ分布状態ヲ見マシテモ、東京大阪ノミニ業トシテ之ヲヤツテ居ル人ガアルニ過ギナイヤウナ實情デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明デ能ク了承致シマシタ、次ニ本法ノ第十五條ニ「主務大臣ハ業務ノ停止若ハ取締役、監査役ノ改任ヲ命ジ又ハ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得」トゴザイマスルガ、茲ニ所謂改任ガ命ゼラレマシタ場合ニ、新任者ガ就任致シマス迄

ノ間ハ何人ガ其ノ事務ヲ擔當代行致スノデアリマセウカ、又其ノ間ノ監督ハ如何様ニセラレルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(入間野武雄君) 大體サウ云フ場合ニ於キマシテハ、新任者ノ後ノコトヲ考ヘマシタ上改任ヲ命ズルヤウニナルカト考ヘマス、行キナリ改任ヲ命ズルヤウナ場合ハアリマセヌト思ヒマス、銀行法ナドニモ此ノ規定ハアリマスルケレドモ、殆ド適用シタコトノナイ條文デアリマシテ、未ダ其ノ實例モ乏シイヤウナ有様デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 尙一ツ參考ノ爲ニ御伺ヒ致シタイトデアリマスガ、特別法ニ依ツテ其ノ發行ノ許可ヲ要シマスル所ノ殖産債券、日鐵社債等ヲ除キマシタ一般ノ社債デ、日銀内ニ設ケラレテ居リマス所ノ資金審査委員會ノ同意ヲ求メマシタ額ハ最近下ノ位ニナツテ居リマセウカ、即チ下受ケヲ致シマシタ額ハ最近下ノ位ニナツテ居リマセウカ、又元引受ヲ致シマス所ノ銀行、信託會社ノ社債引受額ハ最近下ノ位ニナツテ居リマセウカ、若シソレ等ノ統計ガアルヤウデゴザイマシタラ、併セテ御示シテ願ヒタイト存ジマス

○政府委員(入間野武雄君) 御承知ノヤウニ昨年ハ社債界ガ非常ニ不振デアリマシテ、殆ド社債モ出ナカッタヤウナ状態デアリマス、本年春以來漸ク社債界回復ノ曙光ヲ見出シマシテ、只今迄審査委員會デ審議致シマシタ額ガ大凡七千萬圓ニ相成ツテ居リマス、其ノ下受關係ニ付キマシテハ、アノ審査委員會ニ於テ調ベマセヌ爲ニ下受關係ハ不明デアリマスル、發行額ハ大凡七千萬圓デアリマス、尙詳細ハ取調ベマシテ他日御手許ニ差上ゲタイト存ジマス

○子爵梅園篤彦君 起債抑制策遂行ノ爲ニ現在起債ノ統制ヲ政府ニ於テ實施致サレテ居ルノデアリマスルカラ、今日敢テ本法ニ據ラナクテモ證券業者ノ不當賣買等ヲバ有效ニ取締ル途ガ、外ニアリハシナイカトモ思ハレルノデアリマスルガ、矢張り其ノ途ガナイノデアリマセウカ、ドウシテモ本法ニ據ラナケレバ其ノ取締ヲ完全ニ行フコトガ出来ナイノデアリマスナラバ、本法ニ據ラネバナラナイト云フ其ノ間ノ實情ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

○政府委員(入間野武雄君) 只今ノ御説デゴザイマスルガ、只今臨時資金調整法ガ制定セラレテ居リマシテ、金融機關ノ事業資金ノ貸出及ビ證券引受業者ノ有價證券ノ應

募引受、若シクハ募集ノ取扱ニ付キマシテハ、政府ノ許可ヲ必要ト致シテ居リマス、ガ併シナガラ臨時資金調整法ニ掲ゲテ居リマスル金融機關ハ、總テ政府ノ實體的監督ヲ受ケテ居リマスルニ拘リマセズ、此ノ證券引受業者ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテ實體的ニ何等ノ監督ヲ致シテ居リマセヌガ爲ニ、其ノ間ニ不便ガアリマスルノデ、證券引受業者ニ付キマシテモ實體的ノ監督ヲ致シタイ、サウシテ以テ政府ノ監督ニ依ッテ社債界ニ於ケル地位ノ向上若シクハ其ノ社債界ノ圓滑ナル進行ヲサセテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス次第デアリマス、尙モウ一ツ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、第五條ノ關係ニ於キマシテ、政府ニ於キマシテ實體的ニ監督デモシナケレバ、新商法施行ノ關係上證券引受業者ガ從來ノ營業ヲ營ミ得ナイト云フヤウナ實情ニアリマスルノデ、先ヅ政府ニ於テ此ノ法律ヲ出シテ證券引受業者ノ監督ヲシテ、然ル後ニ此ノ社債募集ノ委託ヲ受ケラレル、從來ノ仕事ヲ奪ハレナイデ済ムト云フヤウニシテヤリタイト思ヒマシテ、此ノ法案ヲ提出致シ次第デアリマス

程ノ政府委員ノ御説明ノ中デ、既ニ御説明ニナツタカモ存ジマセヌガ、或ハ私ハ聽キ漏シタノカモ存ジマセヌガ、附則ノ第一項ニ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トゴザイマスガ、此ノ期日ハ大體何時頃ノ御豫定デアリマスカ、御伺ヲ致シタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 此ノ法律ノ御協賛ヲ得マシタナラバ、勅令其ノ他ノ規定ヲ作成致シマシテ、成ルベク早く施行致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、多分四月中ニハ施行シ得ルコトト存ジテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 私人質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス

○政府委員(入間野武雄君) 只今四月ト申上ゲマシタガ、手續上七月頃ニ相成ルカト存ジマスノデ、訂正致シテ置キマス

○久保市三郎君 大體逐條ノ御説明デ以テ大變下ウモ本法案ハ了解出來マシタ、只今梅園子爵ノ御質問ガアツテ大變ドウモ能ク了解致シマシタ、ガ茲デ以テ一二御尋ネ申シテ置キタイト云フノハ、此ノ法案ハ大藏省ノ方ノ管轄デアルト云フ、曩ニ矢張り貴族院ノ方ニ提出相成リマシタ有價證券業取締法案ト云フノガアリマス、此ノ法案ハ商工省ノ方ノ關係デアルト云フノデアリマス、

此ノ有價證券引受業法ト有價證券業取締法トノ關係ハドウ云フ風ナコトニナツテ居リマスカ、此ノ關係ノコトニ付テ御話ヲ承リマスレバ大變宜イト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 此ノ有價證券引受業法ノ方ハ、有價證券引受業者ニ對スル實體的ノ監督デアリマス、其ノ業務ノ内容等ヲ監督シテ有價證券引受業ノ圓滿ナル發達、堅實ナル發展ヲ遂ゲサセタイト云フノガ此ノ法規ノ目標トシテ居ル所デアリマス、次ニ商工省ノ方ニ於キマスル所ノ有價證券業取締法ハ、主トシテ有價證券ノ賣買ヲスル者ノ不正行爲ヲ取締ルト云フ意味合ノ法律デアリマシテ、片方ハ實體的ノ監督デアリ、片方ハ不正防止ノ目的カラ取締ッテ行ク、斯ウ云フヤウニ相成ッテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ有價證券引受業ノ方ノ只今ノ所ノ該當者ハ十指ヲ屈スルニ至ラス程デアリマスガ、有價證券業取締法ノ對象トシテ居リマス所ノ者ハ五千有餘人アルヤニ承ッテ居リマス

○久保市三郎君 モウ一ツ御聽キ申シタイノハ、此ノ附則中ノ一番末項デスガ、本法施行ノ際ニ一年以上有價證券ノ業務ヲ營ンデ居ルモノガ第二項ノ期限内、所謂三箇月内ニ免許ヲ申請スル時ニハ、本法施行後二

年ヲ限ッテ三條ト四條ノ規定ヲ適用シナイ、サウスルト資本金モ二百萬圓ナクテモ宜ケレバ或ハ主務大臣ノ認可ヲ得ナイデモ、特ニ例外規定ヲ設ケテ置クト云フコトノ爲ニハ、ドウモ此ノ今ノ監督上公正ヲ缺クト云フヤウナ憾ミガアルヤウニ思ハレマス、此ノ點トシテモノデセウ

○政府委員(入間野武雄君) 此ノ規定ハ、能ク經過規定ナドニ設ケラレルノデアリマシテ、資本金ヲ二百萬圓ト致シマスル關係上、從來ノモノガ假ニ五十萬圓ナラ五十萬圓デ其ノ仕事ヲシテ居ルモノガアツク時ニ、急ニ二百萬圓迄増資サシテ行クト云フコトハナカク困難デアリマスノデ、大抵二年若シクハ五年ト云フ期限ヲ置イテサウ云フコトヲ認メテ居リマス、又第四條ノ關係ハ、今迄ヤツテ居リマシタ仕事ヲ急ニパツト他業ヲ止メサシテシマウト云フコトモドウカト考ヘマスノデ、二年間内ニ他業ヲ整理サセテ、引受業トシテ兼營シ得ル仕事ト、兼營シ得ザル仕事トヲ二箇年間内ニ整理致サセタイ、斯ウ云フ目的カラ此ノ附則ノ末項ガ置カレテアリマス

○久保市三郎君 サウスルト今ノ御説ニ依リマスト、二百萬圓デナイ、今言フ通り二百萬圓以下ノ會社デモ、今ノサウ云フヤウ

ナ場合ノ時ニハ二百萬圓以下デモ、二箇年
間ハ商賣ヲ許シテ置クト言ツタ譯デアリマ
スカ

○政府委員(入間野武雄君) 久保委員ノ御
説ノ通りデアリマス

○久保市三郎君 ソコデ今一ツ御尋ネ申シ
タイコトハ、此ノ有價證券引受業ト云フ斯
ウ云フ法律ヲ、特ニ此ノ際、斯ウ云フ非常
時デアリ、多忙デアル、斯ウ云フ時局ノ時
ニ、特ニ此ノ法律ノ制定ヲ一ツ茲ニ作ラナ
ケレバナラナイト云フ理由、或ハ又一面ニ
於テハ非常ニ有價證券業者ガ競争ヲ恐ル、
カ何カ、矢張り今ノ十指ヲ……十カ或ハ十
前後今現存シテ居ル會社カラ、競争會社ノ
成立ヲ防グ積リデアルカ、特ニ斯ウ云フヤ
ウナ取締規則ヲ制定シテ貫ヒタイト云フヤ
ウナ請願陳情ガアツタヤウニモ承ルノデア
リマスカ、全クサウ云フヤウナ現存シテ居
ル有價證券引受業者ノ希望ニ依ッテ出タモ
ノデアリマスカ、今ノ時勢ニドウシテモ斯
ウ云フモノガナクテハイカスト云フモノデ
アルカ、特ニ此ノ際斯ウ云フ法律ヲ制定ラ
スルノ理由ヲ一ツ……

○政府委員(入間野武雄君) 有價證券引受
業法ヲ制定致シタイト云フコトハ、豫テ大
藏省ノ内ニ論議サレテ居タノデアリマスル

ガ、御承知ノ通り昨年以來生産力擴充ト
云フ必要ニ非常ニ迫ラレテ参リマシタ、從
ヒマシテ、ソレガ爲ニ要スル所ノ事業資金
ハ、原則トシテ長期資金デアルコトガ必要
ナンデアリマシテ、長期資金ノ調達ハ御承
知ノ通り、社債ニ依ルノガ只今ノ常道デア
リマス、而シテ社債ノ發行ニ當リマシテハ、
昭和十一年中ニ出マシタ總額ガ約二十二億
七千九百萬圓、地方債、社債併セマシテ二
十二億七千九百萬圓デアリマスカ、其ノ内
有價證券引受業者ノ引受ニ依ッテ發行セラ
レマシタモノガ約四分ノ一ニ相成ッテ居ル
ノデアリマス、從ヒマシテ社債界ニ於ケル
有價證券引受業者ノ地位ト云フモノハ、銀
行ニ次イデ、極メテ重要ナルモノニ相成ッテ
参ッタノデゴザイマス、從ヒマシテ、是等ノ
モノニ對シマシテ、唯其ノ儘ニ放任シテ置
クコトモ如何カト存ジマスルノト、殊ニ本
年初メ以來、起債界打開ノ曙光ハ見エマシ
タモノノ尙濫發サレテハイケマセヌノデ、
政府ニ於キマシテモ、相當其ノ發行ニ付キ
マシテ注意ヲ拂ッテ居リマスルヤウナ譯デ
アリマスルカラ、此ノ際、其ノ社債發行ノ
重要ナ役割ヲシテ居リマスル有價證券引受
業ヲ取締ルト申シマスルカ、監督スル法律
ヲ設ケマシテ、以テソレ等業者ノ、一面ニ

於キマシテハ、堅實ナル發達ヲ圖リ、他面
ニ於キマシテハ、社債界ノ圓滿ナル運行ヲ
圖リタイト云フコトノ爲ニ、此ノ法律案ヲ
提案致シマシタヤウナ譯デアリマス、尙申
シ殘シマシタガ、商法施行法、先程申上ゲ
テ居リマス商法施行法トノ關係モアリマシ
テ取り急ギマシタヤウナ譯デアリマス

○久保市三郎君 能ク分リマシタ

○野村徳七君 私二、三御伺ヒ致シタイト
デゴザイマス、第一條ニ關シマシテ、有價證
券ノ引受又ハ募集ト云フコトニ付キマシテ
御尋ネ致シマスカ、此ノ募集ト云フコトハ、
既ニ發行サレタモノニ付テモ之ヲ言フノデ
アリマスカ、新タニ發行セラル、モノノミ
ヲ指スノデアリマスカ、伺ッテ置キタイト
デゴザイマス

○政府委員(入間野武雄君) 只今野村委員
ノ御質問ニ關聯シマシテ、此ノ際引受ト茲
ニ書イテ居リマスルコトト、募集ノ取扱ト
書イテアリマスルコトニ付キマシテ簡單ニ
御説明申上ゲタイト存ジマス、引受ト申シ
マスルノハ、公社債ナドノ發行セラレマス
ル際ニ其ノ拂込ノ義務ヲ負擔スルコトヲ約
束スル行爲デアリマス、ソレカラ募集ノ取
扱ト申シマスルノハ、單ニ募集事務ヲ行フ
ダケデアリマシテ、自ら拂込義務ヲ負擔シ

ナイモノヲ指シテ居リマス、尙御尋ノ、今
迄アツタモノカ、或ハ將來發行サレルモノカ
ト云フ御尋デゴザイマスルガ、是ハ新ラシ
ク發行セラレマスルモノニ付キマシテ、引
受行爲若シクハ募集ノ取扱行爲ノアリマス
ル時ニ、此ノ法律ノ適用ヲ受ケルト御了承
ヲ願ヒタイト存ジマス

○野村徳七君 ソレニハ社債ノミナラズ、
無論株式ヲモ含シテ居ルモノト承知シテ宜
シウゴザイマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 其ノ點ニ付キ
マシテハ、第一條第二項デ、有價證券ノ種
類ヲ勅令決定メタイト存ジテ居リマス、株
式ハ之ヲ除外スル積リデ居リマス、ト申シマ
スコトハ、公債社債ハ確定利札附ノモノデ
アリマシテ、所謂金融證券ト稱スルコトガ
出來マセウケレドモ、株式ニ付キマシテハ、
所謂金融證券ニ非ズシテ、何ト申シマスカ、
企業參加證券トデモ申シマセウカ、株式會
社ノ經營ニ參加スル證券デアリマシテ、金
融證券トハ趣ヲ異ニシテ居リマスノデ、之
ヲ除外スルコトニ致シタノデアリマス、即
チ大藏省ト致シマシテハ、金融ト云フ立場カ
ラ之ヲ見テ居ルノデアリマシテ、株式ニ付キ
マシテハ、其ノ主管廳デアアル商工省ニ御願
シタ方が穩當ガラウト考ヘマシテ、此ノ勅

於キマシテハ、堅實ナル發達ヲ圖リ、他面
ニ於キマシテハ、社債界ノ圓滿ナル運行ヲ
圖リタイト云フコトノ爲ニ、此ノ法律案ヲ
提案致シマシタヤウナ譯デアリマス、尙申
シ殘シマシタガ、商法施行法、先程申上ゲ
テ居リマス商法施行法トノ關係モアリマシ
テ取り急ギマシタヤウナ譯デアリマス

○野村徳七君 ソレニハ社債ノミナラズ、
無論株式ヲモ含シテ居ルモノト承知シテ宜
シウゴザイマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 其ノ點ニ付キ
マシテハ、第一條第二項デ、有價證券ノ種
類ヲ勅令決定メタイト存ジテ居リマス、株
式ハ之ヲ除外スル積リデ居リマス、ト申シマ
スコトハ、公債社債ハ確定利札附ノモノデ
アリマシテ、所謂金融證券ト稱スルコトガ
出來マセウケレドモ、株式ニ付キマシテハ、
所謂金融證券ニ非ズシテ、何ト申シマスカ、
企業參加證券トデモ申シマセウカ、株式會
社ノ經營ニ參加スル證券デアリマシテ、金
融證券トハ趣ヲ異ニシテ居リマスノデ、之
ヲ除外スルコトニ致シタノデアリマス、即
チ大藏省ト致シマシテハ、金融ト云フ立場カ
ラ之ヲ見テ居ルノデアリマシテ、株式ニ付キ
マシテハ、其ノ主管廳デアアル商工省ニ御願
シタ方が穩當ガラウト考ヘマシテ、此ノ勅

於キマシテハ、堅實ナル發達ヲ圖リ、他面
ニ於キマシテハ、社債界ノ圓滿ナル運行ヲ
圖リタイト云フコトノ爲ニ、此ノ法律案ヲ
提案致シマシタヤウナ譯デアリマス、尙申
シ殘シマシタガ、商法施行法、先程申上ゲ
テ居リマス商法施行法トノ關係モアリマシ
テ取り急ギマシタヤウナ譯デアリマス

令ニ依リマシテ除外スル心組デ居リマス

○野村徳七君 ソレデハ此ノ程、曩ニ提出

セラレマシタ有價證券業取締法案ニアリマ

ス有價證券ト云フ定義ト、只今伺ヒマス有價

證券ト云フ文字上カラ起リマス定義トハ、

商工省ト大藏省トデハ其ノ取扱上ニ差別ガ

アルト云フコトニナリマスガ、サウ承知ス

ベキデアリマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 大藏省ノ茲ニ

謂フ有價證券ト、商工省ノ有價證券業取締

法ニアル有價證券トハ、御説ノ如ク其ノ範

圍ヲ異ニシテ居リマス、サウ云フ状態デア

リマスカラ、特ニ法律ニ設ケマシテ、勅令

ヲ以テ其ノ種類ヲ定メルト云フコトヲ兩方

ノ法律ニ規定シテ居リマスマヤウナ次第デア

リマス

○野村徳七君 私少シ遅レマシテ第一條ノ

御説明ヲ拜聴致サナカッタノデスガ、先程御説

明ノ中ニ種類ニ付テ御明シガアッタノデア

リマスマガ、其ノ時ニ伺ヘマセズデシタカラ、

只今凡ソノ、勅令ヲ以テ定メマス範圍ノ有

價證券ト云フモノニ付テ、更ニ伺ヘレバ結

構ダト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 勅令ヲ以テ定

メマス有價證券ノ種類トシテ、只今考ヘテ

居リマス所ノモノハ國債、地方債、銀行債、

會社債、商工債券、産業債券、ソレカラ新

タニ御審議ヲ願フテ居リマス所ノ庶民金庫

法、恩給金庫法ガ通過致シマスレバ、庶民

債券、恩給債券、尙其ノ外、外國ノ國債デ

アルトカ、或ハソレ等ノ性質ヲ有スルヤウ

ナモノヲ含メタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○野村徳七君 第四條ニ關シマシテ伺ヒマ

スガ、他ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズト規定セ

ラレテ居リマシテ、先程モ御説明ヲ伺ヒマ

シタノデスガ、有價證券引受業ニハ、當然

此ノ金融業務ガ附隨シテ參ッテ居ルノデア

リマシテ、現ニ何レノ證券會社ニ於キマシ

テモ、金融業務ニ携ッテ居ルノデアリマス、

例ヘバ手形ノ賣買デアルトカ、即チ手形ノ

裏書、ソレカラ債務ノ保證デゴザイマス

カ、サウ云フヤウナコトニ、當然此ノ證券

引受業務カラ附隨サレマシテ、サウ云フ仕

事ヲヤツテ居ルノデゴザイマスガ、無論ソレ

ニ付キマシテハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケルコ

トト存ジマスガ、サウ承知シテ宜シイノデ

アリマスカ、

○政府委員(入間野武雄君) 證券引受業ノ

附隨業務及ビ證券引受業ノ他業兼營ノ問題

デアリマスガ、私共只今ノ所大體考ヘテ居

リマス附隨業務ト致シマシテハ、公社債拂

込金ノ受入レ、又ハ其ノ元利金ノ支拂ノ代

理事務、證券ノ貸借及ビ其ノ仲介、有價證

券擔保貸付、公社債ノ前貸金、保護預リナ

ドハ附隨業務トシテ認メテ結構ヂヤナイカ

ト考ヘテ居リマス、尙御示ノ債務ノ保證デ

アルトカ、或ハ金錢ノ貸借及ビ仲介デア

トカ、株式引受、又ハ募集ノ取扱ナドハ兼

業トシテ大臣ノ認可ヲ申請スレバ認可シテ

行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○野村徳七君 先程モチョット此ノ御説明

ノ中ニモアリ、又一委員ノ質問ニ對シマス

御答ノ中ニモアッタノデアリマスガ、有價證

券引受業者ガ此ノ法案ノ下ニ監督ヲ受ケテ

參リマスルト致シマシテ、新タニ有價證券

業取締法案ノ認可ヲモ必要トスル、是ハ從

來此ノ證券取扱ノ仕事ガ賣買デアル以上ハ、

賣買行為ト致シマシテ、商工省ノ監督下ニア

リマスコトハ、取引所ト同ジヤウナ解釋デ、

只今ハ此ノ根本義カラ論議サレマセスト、

大藏省ニ纏ラナイ、私共ハ大體大藏省ニ纏

ルベキモノデアルト云フ考ヲ以前カラ持ッ

テ居ルノデアリマスガ、今回此ノ業法ガ出

來マシテモ矢張り商工省ノ監督モ受ケネバ

ナラヌト云フコトニナルノデアリマスガ、

有價證券引受業者ハ相當ナ資本ノ下ニ經營

ヲサレ、又社債引受、募集ト云フヤウナ非

常ナ大キナ信用ヲ將來ニ持續シテ行カナケ

レバナラヌ業務ヲ持ツノデアリマスカラ、

主トシテ不良ナ取引ヲ取締ルト云フ有價證

券取締法ノ下ニ同一取締ヲ受ケテ、五年毎

ニ認可申請ヲシテ行ク、又同一監督ノ下ニ

色々ナ手續其ノ他ヲヤツテ行クト云フコト

ハ隨分引受業者トシテハ迷惑ニ考ヘラレル

コトデアアルノデゴザイマスガ、現在ハ先程

承リマシタ御説明ナリ、御答辯デ了承致シ

テ居リマスガ、尙此ノ問題ニ付キマシテハ、

相當商工省トノ間ニハ何ト申シマスガ、御

相談ト申シマスガ、御管轄上色々研究中ノ

コトデアリマセウガ、チョット此ノ際伺ッテ

置キタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 只今野村委員

ノ仰セノコトハ誠ニ御尤デアルト存ジ上ゲ

マス、證券引受業者ガ證券賣買業ヲ營ンデ

居ルト云フノガ常態デアリマス、從テ一方

ニ於キマシテハ證券引受業ノ爲ニ有價證券

引受業法ノ適用ヲ受ケ、他面ニ於テハ有價

證券賣買ノ爲ニ有價證券業取締法ノ適用ヲ

受ケルト云フコトハ業者トシテ誠ニ煩瑣デ

アラウト云フコトハ御察シスルニ難クナイ

ノデアリマス、兩法ノ目的ノ違ヒマス結果

事茲ニ至リマシタコトハ、私共ト致シマシ

テモ誠ニ遺憾ニ存ジテ居リマス、併シナガ

ラ商工當局トモ相談致シマシテ二重監督ノ

煩瑣ト弊害トハ出來得ル限リ之ヲ避ケタイ
考デ居リマス、業務報告書ナドニ付キマシ
テモ兩省ニ出シマス様式方違フヤウナコト
ノナイヤウニ、同ジヤウナモノヲ兩方へ出
セバソレデ事足ルヤウニ出來ルダケニ重監
督ノ弊ト煩瑣ヲ避ケルコトニ努メタイト考
ヘテ居リマス

○野村徳七君 第八條ニ付キマシテ御伺ヒ

致シマス、此ノ規定ハ此ノ程來本院ヲ通過
致シマシタ商法ノ改正トハ聊カ禁止的ノヤ
ウナ考ガ法文ヲ拜見シマスト起ルノデゴザ
イマスガ、ソレハ商法デハ會社法ニ依リマ
スト其ノ資本ノ四分ノ一ニ達スル迄ハ利益
ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ二
十分ノ一以上ヲ積ミ立ツルコトヲ要ス、斯
ウ云フコトニ改正サレタノデアリマス、何
故是ガ改正サレタカト云フ趣旨ハ、可ナリ
從來ノ利益ノ十分ノ一ト云フコトノ解釋ニ
付キマシテ、解釋上可ナリ疑義ガアリマシ
テ、毎決算期ノ利益ト云フヤウナ風ニ其ノ
後改メラレタヤウデアリマス、本法ニ依リ
マシテドウ云フ譯デ此ノ新ラシイ様式ヲ御
採リニナラズシテ、舊來ノヤウナ十分ノ一
ヲ積ミ立ツベシト云フ條文ヲ茲ニ御適用ニ
ナッタノデアリマスカ、其ノコトヲ伺ッテ置
キタイノデアリマス

○政府委員(人間野武雄君)

新商法ニ於キ
マシテハ從來ノ書キ方ヲ變ヘテ利益ノ二十
分ノ一以上ト云フ風ナコトニヤッテ居リマ
スルガ、此ノ有價證券引受業法ニ於キマシ
テハ利益ヲ配當スル毎ニ準備金トシテ云々
ト規定致シテ居リマス、是ハ新ラシイ商法ノ
例ニ倣ヒマセズデ、從來アル金融關係法規
ノ例ニ倣ヒマシタモノデアリマシテ、銀行
法第八條、信託業法第十二條、無盡業法第
十四條等ノ例ヲ參酌シテ斯クノ如キ規定ヲ
定メタノデアリマス

○野村徳七君

能ク了承致シマシタ、私ノ
質問ハ是デ終リマシタ

○委員長(子爵三室戸敬光君)

御質問ガア
リマシタラバ御續ケテ願ヒマス……ソレデ
ハ私一ツ伺ヒタイノデスガ、極ク簡單ナコ
トデスガ、十八條ノ罰金デゴザイマス、是
ハ有價證券業ノ方ハ大體同ジヤウナ場合ニ
罰金刑ヲ課シテ居リマス、但シ五百圓以下
トナッテ居リマスガ、引受業法ノ方ハ千圓
以下トナッテ居リマス、是ハドウ云フ譯デア
リマスカ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(人間野武雄君)

先程モ申上ゲ
マシタヤウニ有價證券取締法ノ對象トシテ
居リマスルモノハ五千有餘人ニ及ンデ居リ
マシテ、其ノヤッテ居リマスル仕事ノ範圍

モ極メテ小サイノデアリマスガ、此方ノ方
ノ有價證券引受業ノ方ハ相當仕事ノ範圍モ
大キク、且ツ賣リ出シ等ニ付キマシテハ多
數社債権者ニ影響致シマスルモノデアリマ
スルカラ、此ノ點ニ付キマシテハ商工省ノ
法案ヨリモ少シ重ク規定致シテ居リマス、
銀行法ナドニ付キマシテハ、此ノ點ニ付キ
マシテハ體刑等迄アリマサヤウナ譯ナンデ
アリマス

○男爵沖貞男君

只今ノコトニ關聯シテ伺
ヒマスガ、五千圓ト千圓デハマダ少クナイ
カ、之ヲ見込ンデ、惡事ヲスルヤウナコト
ハアリハシナイカト、斯ウ思フノデスガ、
ドウ云フ風デ五千圓及ビ千圓ト云フ御見込
ヲ御附ケニナッタノデセウカ

○政府委員(人間野武雄君)

有價證券引受
業ナルモノハ、外ノ金融機關トハ餘程趣キ
ヲ異ニシテ居リマス、例ヘバ銀行ナドノ其
ノ業態ガ惡クデモナリマスルト、影響スル
所ハ極メテ多數ノ預金者デアリマス、又無
盡會社ガ經營ガ出來ナクナリマスレバ、迷
惑ヲ被リマスルノハ多數ノ掛金者デアリマ
ス、信託會社ニ於キマシテモ又然リデアリ
マスルガ、是ハサウ云フ風ニ多數ノ人々カ
ラ金ヲ集メテ居ルヤウナコトハ致シマセ
ス、社債ヲ引受ケテ之ヲ賣ルト云フ、此ノ

取次ガ主ナルモノデアリマスルカラ、サウ餘
リヒドイ罰則ヲ設ケマスルコトモ、公衆ニ及
ス影響迷惑等カラ願ミマシテ必要ガナカラ
ウカト存ジマシテ、斯クノ如キ規定ヲ置イ
タノデアリマス、銀行法ナドニ於テハ體刑
迄モアリマスガ、是ハ體刑迄モ置カズニヤ
リマシタノモ、サウ云フ趣旨カラ出テ居リ
マスル次第デアリマス

○男爵沖貞男君

了承致シマシタ、引受ニ
對シマシテハ、其ノ發行セラレテ居ル時ニ
拂込ノ義務ガアルト曩ニ仰セニナリマシタ
ガ、サウ云フ風ナコトガアル以上ハ、相當
罰則ヲ嚴重ニシナケレバナラヌデヤナイカ
ト斯ウ思ヒマスガ

○政府委員(人間野武雄君)

只今御尋デゴ
ザイマスルガ、引受ノ場合ニ於キマシテ拂
込ミマスルノニ、自己ノ責任ニ於テ拂込ム
ノデアリマシテ、其ノ引受ケテ得マシタ所
ノ有價證券ヲ一般ニ賣出シテ行クヤウナ次
第デゴザイマス、デアリマスルカラ引受ニ
依リマシテ、一般公衆ニ迷惑ヲ掛ケルト云
フコトハ先ヅナカラウト存ジテ居リマス

○委員長(子爵三室戸敬光君)

御質問ハゴ
ザイマセヌカ、御質問ハナイト心得テ御異
議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵三室戸敬光君) ソレデハ質

問ハ終リマス、次回ハ御相談ヲ申上ゲタイ

ノデアリマスガ明日本會議ガゴザイマシタ

ラ明日、要スルニ本會議ノゴザイマス、最

モ早ク開ケマス當日ノ午前十時半カラ開キ

タイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○久保市三郎君 本會議ガナケレバ……

○委員長(子爵三室戸敬光君) 本會議ノア

リマス當日ノ午前十時半デ如何デスカ

〔「宜ウゴザイマス」異議ナシ〕ト呼フ

者アリ

○油井徳藏君 本會議ノナイ時ハ……

○委員長(子爵三室戸敬光君) 一番早ク開

ケル本會議ノ當日ノ午前十時半、……ソレ

デハ是デ會議ヲ閉ヂマス

午後二時四十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵三室戸敬光君

副委員長 子爵高崎 弓彦君

委員 侯爵淺野 長之君

子爵梅園 篤彦君

男爵沖 貞男君

久保市三郎君

油井 徳藏君

宇野 勇作君

野村 徳七君

政府委員

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 入江 昂君

昭和十三年三月十日印刷

昭和十三年三月十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局